

経済水道委員会

説明資料

名古屋城天守閣の整備検討について

平成28年4月22日
観光文化交流局

目 次

	頁
1 提案内容の比較	1
2 優先交渉権者の工程計画（株式会社竹中工務店 名古屋支店）	2
3 次点の工程計画（株式会社安藤・間 名古屋支店）	2
4 評価委員による評価結果	4
5 優先交渉権者選定後の主な協議・確認事項	6
6 見直し工程（案）	7
7 名古屋城の入場者数見込み	8
8 天守閣木造復元整備にかかる財源フレーム（案）	9
9 天守閣整備にかかる市民向け報告会	12

《添付資料》

- 名古屋城天守閣の整備 2万人アンケート調査票
- 名古屋城天守閣の整備 2万人アンケート説明資料
- 名古屋城天守閣の整備 2万人アンケート説明資料「概要版」

1 提案内容の比較

提案者		株式会社竹中工務店 名古屋支店			株式会社安藤・間 名古屋支店			
史実に忠実	バリアフリー化	車椅子利用者用 小型エレベーター (地階～1階、1階～4階) (4人乗り)			高層一般ビル向けエレベーター (入口段差、大天守閣、小天守閣) (1階～5階) (11人乗り)			
	防災避難計画	仮設避難コアは容易に撤去でき、 復元設計通りに復旧可能な計画			「運営管理」を中心とした防災・ 避難計画			
	木材の調達	原則、国産材一部外材を使用			全て国産材を使用			
	構造計画	直交集成板により耐震性を確保し つつ外観、内観を損なわない 補強計画			木造架構・土壁だけの耐震構造計 画			
復元過程の公開方法		素屋根内見学施設 (5階建て)			復元インフォメーションセンター 見学スペース			
総事業費 (税込み) (建設費及び設計費)	石垣	ケーソン	総事業費 (千円)		石垣	ケーソン	総事業費 (千円)	
	現状維持 保存	利用	47,368,800		現状維持 保存	利用	44,787,600	
		不利用	47,844,000			不利用	44,863,200	
	積直し	利用	49,971,600		積直し	利用	46,342,800	
		不利用	50,446,800			不利用	46,418,400	
	天守閣 竣工時期		2020年(平成32年)7月			2020年(平成32年)6月		
石垣 竣工時期 (積直し)		2029年(平成41年)6月			2024年(平成36年)3月			

2 優先交渉権者の工程計画（株式会社竹中工務店 名古屋支店）

年 度	平成 28 年度												平成 29 年度													
	月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
設計	計画			基本設計						実施設計																
文化庁 文化財保 護審議会	事前協議			全体方針承認 仮設・施工方法等許可 解体・石垣工事						復元（計画変更部分承認） （計画変更部分承認） 既設売店建替等																
文化庁 復元検討 委員会				○					○					○							○					
仮設	計画			準備			車路・栈橋・構台等																			
解体							現外部 EV			現天守閣																
木造復元 工事																										
石垣工事													地階内部、外部取外し ・調査													
市会日程			○						○								○							○		
提出を予 定している議案の 内容	6月			基本設計予算 仮設工事予算 実施設計予算 解体・石垣工事契約 木材発注契約						6月 荒壁材料の発注契約 11月 木造復元工事契約																

3 次点の工程計画（株式会社安藤・間 名古屋支店）

年 度	平成 28 年度												平成 29 年度													
	月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
設計	事前準備			基本設計 (調査含む)						実施設計																
文化庁 文化財保 護審議会													○													
文化庁 復元検討 委員会							●—————●																			
仮設	準備			手続き・調査						仮設構台																
解体							準備手続き ・調査			内装解体・ 足場組			現天守閣													
木造復元 工事																										
石垣工事													石垣調査						石垣撤去							
市会日程			○						○								○						○			

4 評価委員による評価結果

区分	配点	株式会社竹中工務店 名古屋支店		株式会社安藤・間 名古屋支店		
		評価	評価委員の 主なコメント	評価	評価委員の 主なコメント	
業務の実 施方針	180	144	<ul style="list-style-type: none"> ・かなり緻密に検討してあり、プロジェクトイメージがわかる ・プロジェクト推進体制、品質管理体制も具体的である 	108	<ul style="list-style-type: none"> ・知りうる限りでの史実に忠実の具体的内容がつかみづらい ・組織体制等は一般的である 	
事業費・ 工期	概算 事業費	120	96	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費裏付けに具体性がみられる ・詳細に検討されている 	72	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎工事の費用で、ケーソンを用いない場合の積算に疑問 ・品質管理体制が曖昧
	工程 計画	120	96	<ul style="list-style-type: none"> ・マイルストーンの設定など、工期達成の工夫をしている ・設計と施工の並行実施と実現を目指す工程がイメージできる 	72	<ul style="list-style-type: none"> ・移動クレーンを用いて短縮の工夫をしている ・フローチャートで手戻りが生じることのカバーができていない
施設 計画	バリ アフリ 化	240	192	史実に忠実という点に苦心のあとがある	144	史実に忠実の点で配慮が十分でない
	防災 避難 計画			具体的にかなり検討されている		史実に忠実の点で配慮が十分でなく、検討不足の点がある

区分	配点	株式会社竹中工務店 名古屋支店		株式会社安藤・間 名古屋支店	
		評価	評価委員の 主なコメント	評価	評価委員の 主なコメント
施設計画	木材の調達	180	144	144	<ul style="list-style-type: none"> ・全て国産材としているが可能かどうか疑問 ・伝統工法重視の計画で、史実に忠実な木造復元を行うとする計画となっていて、すべて国産材としている。機械かな仕上げについて今後の課題
	構造計画	360	288	216	<ul style="list-style-type: none"> ・現状での限界耐力試算も行っている ・水平剛性確保の検討もあり、努力している
	仮設計画				<p>これまでにないような提案が欲しかった</p> <p>新しい提案が欲しかった（これまでにない）</p>
	復元過程の公開方法	120	96	96	<p>オープンデッキで展示展望できるように工夫している</p> <p>工事現場と木材加工場の両方を見学させるものとしている</p>
	現天守閣の記憶を後世に伝える方策				<p>展示等が提案されており、市民への情報公開に活用できる</p> <p>展示等が提案されており、市民への情報公開に活用できる</p>
計	1320	1056		852	

注 評価委員8名の内、利害関係者等を除く6名の合計点

5 優先交渉権者選定後の主な協議・確認事項

区 分	内 容
株式会社竹中工務店 名古屋支店との協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・4～6月の事前調査の内容確認 ・現天守閣の閉館時期の調整 ・仮設工事の内容確認及び工程の調整 ・仮設工事の契約時期の調整 ・城内における他工事との工程・動線等の調整 など
文化庁への説明及び確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋城天守閣整備事業にかかる技術提案書の説明 ・仮設工事、解体工事、木造復元工事を分割し、許可を得ることについての確認 など

6 見直し工程 (案)

年 度	平成28年度												平成29年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
設計	計画			基本設計			実施設計																	
文化庁文化審議会	事前協議			○ 全体計画の許可						○ 詳細部分の許可														
文化庁復元検討委員会				○						○			○											
仮設史跡外工事	計画			史跡外準備			仮収蔵庫工事																	
木材加工・保管庫(史跡外)工事							木材加工・保管庫工事																	
仮設史跡内工事							史跡内準備工事																	
車路・棧橋・構台等工事							車路・棧橋・構台等																	
解体工事							現外部EV			現天守閣														
木造復元工事																天守閣木造復元								
石垣工事							石垣調査(地階内部、外部取外し・調査)																	
市会の日程	○			○			○			○			○			○								
提出を予定している議案の内容	平成28年度			6月			設計(調査) 仮設史跡内・外工事予算、仮収蔵庫工事予算																	
				9月			車路・棧橋・構台等工事予算、EV解体工事予算 仮設史跡内・外工事契約、仮収蔵庫工事契約																	
			11月			現天守閣解体工事予算 車路・棧橋・構台等工事契約、EV解体工事契約																		
			2月			現天守閣解体工事契約																		
平成29年度			9月			木造復元工事予算																		
			11月			木造復元工事契約																		

7 名古屋城の入場者数見込み

年度	入場者数	前年度比	増加要因	減少要因
27	万人 174	% —		
28	180 (197)	103	・天守閣閉鎖に伴う駆け込み需要 ・本丸御殿第2期公開	天守閣閉鎖
29	90 (98)	50		天守閣閉鎖中
30	160 (174)	178	・天守閣木造復元工事 見学施設完成 ・金シャチ横丁第1期 開業 ・本丸御殿全面公開	
31	160 (174)	100	展示収蔵施設完成	
32	384 (418)	240	天守閣木造復元	
33	446 (485)	116		ブームの縮小
34	401 (437)	90		
35	360 (393)	90		
36 ～ 81	360 (393)	100		

注1 () 書きは入場者数の最大見込みの数

2 平成27年度は速報値

8 天守閣木造復元整備にかかる財源フレーム (案)

(1) 総事業費及び財源内訳

(単位：百万円)

区 分	金 額	内 容
総事業費	50,500	・基本設計、実施設計 ・仮設工事、解体工事、本体工事、石垣工事
財源 内訳	起債 50,500	・観光その他事業債 (充当率100%) ・収支相償する事業であることを確認するため、償還期間における収支計画を策定 ・天守閣にかかる収支を明確にするため、特別会計を設置

(2) 平成28～31年度の収支計画

ア 前提条件 (全国型市場公募債の場合による試算)

区 分	内 容									
起債	償還期間 40年 (20年公募債、借換1回)									
	基金積立 当初 4年据置 毎年3% 借換 4年据置 毎年6%									
	償還利率 年0.665% (平成28年2月兵庫県発行実績)									
	年次割 (出来高) 28、29年度 各5% 30、31年度 各30% 32年度 15% 33～36年度 各2% 37～40年度 各1% 41年度 3%									
使用料	天守閣を整備するため、収支計画において、入場料を以下のとおりとした。ただし、市民については特別料金を設定する <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>現 行</th> <th>平成32年8月以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市 民</td> <td>500円</td> <td>450円</td> </tr> <tr> <td>市民以外</td> <td>500円</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	現 行	平成32年8月以降	市 民	500円	450円	市民以外	500円	1,000円
区 分	現 行	平成32年8月以降								
市 民	500円	450円								
市民以外	500円	1,000円								
補助金	国及び県に対し要望をしていくが、現時点で確定的な収入見込額が算出できないため、計上せず									
寄附金	市民や企業等に対し広く寄附募集を募っていくが、現時点で確定的な収入見込額が算出できないため、計上せず									

イ 収入

(単位：百万円)

区 分	金 額	積算の考え方
使用料	97,928	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋城全体の入場料収入のうち、75%を天守閣に充当 ・平成32年度(8か月) 1,791百万円(331万人分) 平成33年度 2,413百万円(446万人分) 平成34年度 2,170百万円(401万人分) 平成35年度以降 1,948百万円(360万人分)

ウ 支出

(単位：百万円)

区 分	金 額	積算の考え方
公債償還金	60,567	<ul style="list-style-type: none"> ・元金 50,500百万円 ・利子 10,067百万円
運営管理費	27,645	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度実績に基づき算出 ・平成28～31年度(天守閣閉鎖中) 各年度平均約114百万円を計上 ・平成32～31年度 各年度平均約544百万円を計上
集客促進費	200	木造復元にかかる周年事業
修繕費	3,086	平成81年度までの必要額
基金積立	6,430	支出を上回る収入について基金積立
計	97,928	

注 「運営管理費」については、効率的・効果的な運営や大阪城など他の城郭における民間活力の活用状況を検討することにより、さらなる経費削減に努める

エ さらに収入増加に向けた取り組み

区 分	内 容
補助金	国や県に天守閣木造復元の意義や重要性を理解していただき、必要な措置を講ずるよう積極的に要望していく
寄附金	市民や企業等の理解と協力をいただけるよう機運醸成を図るとともに、募集方法を工夫するなどにより幅広く寄附を募る
使用料等	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋城全体の魅力向上を図るとともに、本市の観光施策との一体的な展開等を行い、入場者数の増加を図る ・大阪城など他の城郭や民間の観光施設の取組み状況の研究を進めるなど民間活力の活用について検討する

9 天守閣整備にかかる市民向け報告会

(1) 出席予定者

- ・名古屋市長
- ・名古屋市会代表
- ・観光文化交流局 職員
- ・優先交渉権者（株式会社竹中工務店 名古屋支店）

(2) 内容

- ・市長あいさつ、市会代表あいさつ
- ・名古屋城天守閣映像（DVD）の上映
- ・名古屋城天守閣の整備の概要説明
- ・質疑

(3) 開催日時及び会場

開催日時	会 場
平成28年 5月10日（火）18時30分～20時30分	名東文化小劇場
5月11日（水）18時30分～20時30分	西文化小劇場
5月12日（木）18時30分～20時30分	港文化小劇場
5月13日（金）18時30分～20時30分	緑文化小劇場
5月15日（日）14時00分～16時00分	鯨城ホール

注1 いずれの会場も開始時間の30分前に開場

2 予約不要・入場無料